

# 北海道における交通ネットワークの確保

---



# ひがし北海道地域におけるWILLERの取組

(国土交通省「新モビリティサービス推進事業 先行モデル事業」)

## 実証実験の概要

ひがし北海道地域において、WILLERS MaaSアプリにより鉄道、バス、超小型モビリティ等を組み合わせて、移動ルートの検索・予約・決済を一括して行い、観光目的地を周遊しやすくするサービスの提供。収集したデータを分析し地域内で利活用する。

**実証期間:**2019年12月～2020年2月

※MaaSアプリは、2019年8月下旬サービス開始

## 参画する事業者等

WILLER (株)、JR釧路本線維持活性化沿線協議会、JR北海道、阿寒バス(株)、網走バス(株)、斜里バス(株)、くしろバス(株)、金星釧路ハイヤー(株)、(有)阿寒観光ハイヤー、(株)網走ハイヤー、(株)斜里ハイヤー、ひがし北海道自然の美への道DMO、AZAPA株式会社等

## MaaSアプリの構築・提供

### <対象交通手段>

鉄道、バス(路線バス・空港バス・定期観光バス・レストランバス・シェアバス)、タクシー、レンタカー、超小型モビリティ、レンタサイクル

### <提供するサービス>

経路検索、予約、決済

## その他関連するメニュー

- ・デジタルフリーパス(ひがし北海道ネイチャーパス)販売
- ・観光ツアー、体験アクティビティ、遊覧船の予約・決済
- ・提携観光施設、商業施設で使用可能なクーポンの提供

## <展開エリアイメージ>



## 実験内容

- ① WILLERS MaaSアプリ・モビリティに搭載する車載センサーからのデータ収集
- ② 収集したデータの地域内利活用

# 倶知安町におけるAI運行バスの運行に関する実証事業

- 倶知安町は、豊富な自然や冬の雪質の高さにより、世界中から多くの観光客が来訪しているリゾート地。
- 他方で、コンドミニアムに長期滞在する外国人観光客の食のニーズを満たせるのはリゾートエリアではなく、倶知安市街地。現在、リゾートエリアと倶知安市街地の公共交通が不十分であるため、AI運行バスを運行し、オンデマンドで効率的な移動を提供する。

## 背景

- リゾートエリア（①花園エリア、②ひらふエリア、③ニセコビレッジエリア、④ニセコアンヌプリエリア）では、「ローカルフードを食べたい」、「スーパーで地元の食材を調達して自分で調理したい」という外国人観光客のニーズを十分満たせていない。
- これらのニーズに対応できる倶知安市街地とリゾートエリアの公共交通は不十分。また、タクシーが不足しているため、病気・けが等、必要なときに柔軟な移動をすることができない点も課題。

G20観光大臣会合の会場である花園エリアと倶知安市街地を結ぶ公共交通がない

交通結節点であるひらふ坂の冬場の渋滞は深刻

アンヌプリ  
このこの滞宿いるは  
ノーザンリゾートアンヌプリ

ニセコビレッジ  
ザ・グリーンリーフニセコビレッジ

ニセコグラン・ヒラフ  
ウェルカムセンター前

ニセココナインテッドシャトル

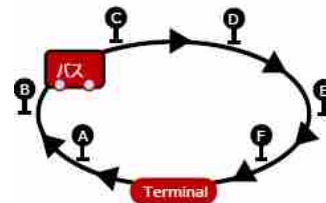
始点から終点まで1時間程度かかるため、比較的短距離の移動でも待ち時間が発生

◀現在の主なバスの運行ルート

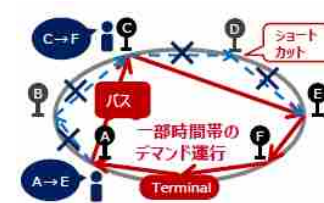
## 事業概要

- ◆**倶知安町における二次交通の課題に関する整理**  
⇒倶知安町における外国人観光客、観光関係者及び交通関係者からヒアリング等を行い、二次交通の課題を整理。
- ◆**AI運行バスの運行に関する実証事業**
  - ・バスの乗客向けウェブサイトを開発
  - ・観光客及び地域住民は当該ウェブサイトを通じて、自身の所在地と乗車希望を発信
  - ・AIがリアルタイムで効率的な運行ルートを計算し、ドライバーに配車通知
  - ・ドライバーはAIの指示に従い、実際に運行
- ⇒オンデマンドで効率的な運行が可能に

これまでの定時運行バス



AI運行バス



※なお、運行エリアは倶知安市街地、①花園エリア、②ひらふエリアとする予定

- ◆**実証事業の結果を踏まえた検討**  
⇒実証事業の結果を踏まえ、運行エリアの設定や広告・クーポンの導入等に関する検討を実施。